

NC MATE-4K,4Wと、NC MATE-4K IIとの相違点

		NC MATE-4K,4W	NC MATE-4K II
パソコンとの接続		パソコンのPCIスロットにI/Oカードをさし、そのI/OカードとNC MATE-4K基板をケーブルで接続します。	パソコンのPCIスロットに、NC MATE-4K II 基板をさしこみます。
コネクタピン数		100P	96P
コネクタへの電源供給		+24V(CN1ピン番号 91,92)	+24V(CN1ピン番号 1,49)
最小設定単位		0.001mm	0.01mm/ 0.001mm/ 0.0001mm
X軸直径指定		使用できません。	半径指定と直径指定がパラメータで選択できます。
操作上の相違点	操作画面		マンマシンインターフェースの考え方を基に作られた操作画面。運転モードごとに画面が切り替わるので、見やすく、操作性が飛躍的に向上。軸移動のための方向キーレイアウトが自由にカスタマイズでき、手動での操作が直観的に行えます。
	パラメータ設定画面		パラメータの入力が簡単にできるように考えられた画面。パスワードによる権限設定も出来るので、安全性が向上します。
	位置復帰ボタン	機械座標が全軸0となるように移動します。	機械座標が全軸0となるように移動します。 ただし、原点復帰が完了していない軸がある場合は、手動レファレンス点復帰と同じ動作をし、原点復帰を完了させます。
	プログラムファイル選択運転	使用できません。	あらかじめ登録しておいたプログラムファイルを、プルダウンメニューから選択して自動運転を行うことができます。
	入出力状態表示	デバッグ用表示のみ	デバッグ用表示はもちろん、各信号のグループごとに入出力状態の確認を行うことができます。
	外付け押しボタン操作	一部操作できない機能(モード)があります。	パソコン画面とほぼ同一の操作を外付け押しボタンで行うことができます。
オプション基板		CCLG-K(A)基板(クッション機能、フルクローズドループ機能用)	クッション機能が搭載されています。 (フルクローズドループ機能は搭載していません)

NC MATE-4K II パソコン推奨環境

OS	Windows Vista	CPU : 2GHz, メモリ : 1GB以上
	Windows XP	CPU : 1.3GHz, メモリ : 512MB以上
	Windows 2000	CPU : 700MHz, メモリ : 256MB以上
バス		PCIバス搭載(PCIショートサイズが入るもの)
画面設定		1024*768ピクセル